

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 5 月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『毛抜』	○			
	『勸進帳』				
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○		○	○
	『矢の根』	○			
	『極付幡随長兵衛』	○			
	『春興鏡獅子』				
新橋演舞場	『ジャニーズWESTコンサート なにわともあれ、ほんまにありがとう! in TOKYO』				○
	『第九〇回記念公演 東をどり』			○	
	『舟木一夫シアターコンサート in 新橋演舞場』			○	
明治座	『義経千本桜 鳥居前』	○	○		
	『釣女』	○	○	○	○
	『邯鄲枕物語 船清の夢』	○	○		
	『慙紅葉汗顔見勢 伊達の十役』	○	○		
南座 (京都)	『ザ・オダサク 愛と青春のデカダンス』	○		○	○
	第二十一回南座歌舞伎鑑賞教室			○	○
	『今日からあなたも喜劇人 喜劇の歴史と喜劇のイロハ体験』			○	○
	『お祭り提灯』	○			
松竹座 (大阪)	鼓童ワン・アース・ツアー 2014 『神秘』			○	
	『ジャニーズWESTコンサート なにわともあれ、ほんまにありがとう!』				
三原市芸術文化センターポポロ	『OSK日本歌劇団レビュー春のおどり』	○		○	○
	坂東玉三郎特別舞踊公演			○	○
地方巡業	『都風流』				
	『月の巻』			○	
	『紀州道成寺』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

青山劇場	4月	『アダムスファミリー』プログラム
赤坂ACTシアター	4月	『金閣寺』プログラム
EXシアター六本木	3月	『思い出のカルテット』プログラム
恵比寿・エコー劇場	3月	テアトルエコー『病院ミシュラン』プログラム 日本劇団協議会『家族の休日』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	4月	『吉野まほろば』プログラム
KAA T神奈川芸術劇場	3月	『森と夜と世界の果てへの旅』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	4月	扉座『つか版・忠臣蔵』プログラム、台本
紀伊國屋サザンシアター	4月	劇団民藝『シズコさん』プログラム、台本
国立劇場小劇場	3月	『素踊りの会』プログラム
	4月	『組踊大川敵討』プログラム 『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会』プログラム 『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会特別公演』プログラム
シアターオーブ	3月	劇団☆新感線『蒼の乱』プログラム、台本
シアターX	3月	横浜ボートシアター『恋に狂ひて』プログラム、台本
シアタークリエ	3月	SHOW-i s m V I I 『ピトレスク』プログラム
	4月	『ラブ・チェイス』プログラム
シアターコクーン	3月	『MUSASHI ロンドン・NYバージョン』プログラム
	4月	『イン・ザ・ハイツ』プログラム
	5月	『殺風景』プログラム
新国立劇場中劇場	4月	『フラメンコ曾根崎心中』プログラム
天王洲銀河劇場	4月	『まほろばかなた 長州志士の目指した場所』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	4月	『酒と女とジキルとハイド』プログラム
日生劇場	3月	ミュージカル『ラブ・ネバー・ダイ』プログラム
博品館劇場	4月	ミュージカル『ホンク!』プログラム 『幕末奇譚 SHINSEN5 外伝』プログラム
文化学院講堂	3月	劇団山の手事情社『ヘッダ・ガブラー』プログラム、台本
三越劇場	4月	文学座『夏の盛りの蟬のように』プログラム、台本
明治座	4月	『きりきり舞い』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成26年5月号	『国立演芸場公演ガイド』平成26年4月号, 5月号, 6月号
『文楽通信かわら版』23号	
『大向う』平成26年6月号	『ミュージカル』2014年5月-6月号
『Confetti』2014年JUNE	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年6月号
『Confettiかわら本』2014年6月号	『日本照明家協会誌』2014年5月号
『伝統文化新聞』2014年(96号)	『日本舞踊』66巻6月号
『DRAMAかながわ』67, 68, 69号	『日本舞踊協会報』210号
『別冊DRAMAかながわ』3号	『ラ・アルプ』2014年6月号
『演劇ぶっく』2014年6月号	『Sept倶楽部information』 2014年4月, 5月
『演劇界』2014年7月号	
『華風』2014年4月号, 5月号	『シアターアーツ』2014年春(58号)
『悲劇喜劇』2014年6月号	『シアターガイド』2014年7月号
『ほうおう』2014年6月号, 7月号	『ジ・アトレ』2014年5月
『邦楽の友』平成26年6月号	『ステージぴあ』2014年5+6月号
『上方芸能』2014年6月(192号)	『テアトロ』2014年6月号
『神奈川芸術プレス』2014年5月-6月Vo1. 118	『座・高円寺』No. 11
『喝采』2014年9月	

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『文化通信ジャーナル』2013年8月号, 10月号,
11月号, 12月号, 2014年2月号, 3月号, 4月号
『ドラマ』2014年6月号
『映画芸術』2014年春号(447号)
『映画秘宝』2014年7月号
『映画時報』2014年4月-5月号
『映画テレビ技術』2014年6月号
『衛星劇場プログラムガイド』2014年5月号

『キネマ旬報』2014年6月上旬号, 6月下旬号
『黒澤明研究会誌』2014年No. 31
『日経エンタテインメント!』2014年5月号
『ロケーションジャパン』2014年6月号
『SCREEN』2014年7月号
『シナリオ』2014年7月号
『シナリオ教室』2014年6月号
『松竹(社報)』2014年(181号)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『THE NEXT GENERATION パトレイバー 第二章』	○		○		
『瀬戸内海賊物語』		○	○		
『機動戦士ガンダムUC (ユニコーン) episode 7 虹の彼方に』			○		
『忍ジャニ参上! 未来への戦い』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

『ニューヨーク 冬物語』 『マンデラ 自由への長い道』 『ミスターGO!』
『オー!ファーザー』 『MONSTERZ モンスターズ』 『劇場版 ゆうとくんがいく』
『ニード・フォー・スピード』 『シネマ落語 落語研究会 昭和の名人 七』
『ドン・ジョン』 『愛しのフリーダ』 『映画 鈴木先生』
『バイロケーション』 『貞子3D2』 『体脂肪計タニタの社員食堂』
『ボブ・マーリー ルーツ・オブ・レジェンド』 『ライジング・ドラゴン』
『劇場版「東京スカイツリー 世界のひみつ」』 『甘い鞭』
『愛と誠』 『シュガーマン 奇跡に愛された男』 『図書館戦争 革命のつばさ』
『トワイライト・サーガ ブレイキング・ドーン Part 2』 『アップサイドダウン 重力の恋人』
『The Lady アウンサンスーチー ひき裂かれた愛』
『劇場版 STEINS ; GATE シュタインズ・ゲート 負荷領域のデジャヴ』



ちょっと調べてみました*祝ワールドカップ開催!「サッカー映画」編

いよいよサッカーW杯ブラジル大会の開幕も直前に迫りましたね!このコーナーでは、当館が所蔵する劇場プログラムの中から「サッカー映画」をちょっとだけご紹介しましょう。

『シュート!』(1994年)は同名の人気漫画を実写映画化した作品。当時読売ヴェルディで活躍していたラモス瑠偉、武田修宏、藤吉信次選手が出演しています。『KAZU&YASU ヒーロー誕生』(1995年)はJリーグブーム真っ盛りの際に製作された「キングカズ」こと三浦知良と三浦泰年の兄弟のアニメ伝記映画です。『名探偵コナン 11人目のストライカー』(2012年)は人気アニメシリーズと「Jリーグ20周年記念プロジェクト」のコラボ作品。今大会で代表に選ばれた遠藤保仁、今野泰幸両選手の外、現役の人気Jリーガーが本人役で登場し、声優としても本人が声をあてています。

外国にも様々なサッカー映画があります。『ディディエ』(1997年)は低迷するプロチームに突然参加する謎の助っ人の話。対戦相手としてパリ・サンジェルマンの若手選手が出演しています。余談ですが、現在仏代表の監督は、1998年仏大会の優勝国フランスの主将ディディエ・デシャンで、この映画の主人公の名前と同じです。『ベルンの奇蹟』(2003年)は、1954年スイス大会でドイツが劇的な優勝を飾り、敗戦国の国民たちに希望を与えた「ベルンの奇蹟」をモチーフに、父と子の絆の再生を綴った作品で、元プロサッカー選手だった監督が、迫力あるサッカーシーンを作り上げています。サッカーの試合を観たくて奮闘するのは『オフサイド・ガールズ』(2006年)。女性がスタジアムでサッカー観戦することが禁じられているイラン。2006年独大会出場を懸けた予選、イラン対バーレーンを観戦するために、男装してスタジアムに潜り込もうとする少女たちの話で、実際に試合が行われているときにも撮影されています。最後に、1998年仏大会の時のお話が『ザ・カップ 夢のアンテナ』(1999年)です。チベット仏教の僧院の少年修行僧が、どうしてもW杯の決勝が見たくて、先生も巻き込み色々な手を考えます。

この少年修行僧ほどではないにしても、W杯開催中は、仕事を手につかない人も多いのではないのでしょうか?



左上より時計回りに『ディディエ』『ザ・カップ 夢のアンテナ』『オフサイド・ガールズ』『ベルンの奇蹟』プログラム。

展示

- 菊田一夫記念館（岩手県奥州市）常設展示コーナー
 - ・映画『鐘の鳴る丘』ポスター（複製・2枚）を、前年度に引き続き展示に提供
- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館（前期）海外公演、その輝かしい歩み」
2014年4月2日より8月24日
 - ・松竹が製作した第1回から第30回までの歌舞伎海外公演の資料を展示に提供
- 馬の博物館特別展「歌舞伎と馬」
2014年4月26日より6月8日
 - ・馬が出てくる演目に関する資料（台本、筋書、ポスターなど）を展示に提供

出版

- 『監督川島雄三 松竹時代』カワシマクラブ（編）2014年5月11日発売 ワイズ出版
 - ・映画台本『シミキンのオオ！市民諸君』のCIE検閲回答書を図版として提供
- UCカード／セゾンカード会員誌『てんとう虫 express』6月号 2014年5月20日発行
 - ・映画『東京キッド』と『悲しき口笛』のプレスシートを記事に提供
- 「Japan and Europe in Global Communication Edited Book」MYKOLAS ROMERIS UNIVERSITY 2014
 - ・映画『浪華悲歌』と『祇園姉妹』のスチール写真を池田淑子氏の論文「“MOGA(MODERN GIRLS)” IN JAPANESE POPULAR FILMS OF THE 1920s AND 1930s: MODERNIZATION AND JAPANESE WOMEN」に提供

プログラム掲載

- 「團菊祭五月大歌舞伎 十二世市川團十郎一年祭」
2014年5月1日より5月25日 歌舞伎座
 - ・昭和11年4月歌舞伎座筋書の表紙裏と、写真集『五世尾上菊五郎』より『魚屋宗五郎』を公演プログラムの記事に提供
- 「明治座五月花形歌舞伎」
2014年5月2日より5月26日 明治座
 - ・昭和54年4月明治座筋書の表紙と『伊達の十役』扮装写真を公演プログラムの記事に提供
- 「第4回市川笑野舞踊会」
2014年5月11日 岡谷市カノラホール
 - ・雑誌『演芸画報』大正13年12月号グラビア（『寒行』初代市川猿翁）を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『爆報！THEフライデー』
TBS テレビ 2014年4月25日 19:00～19:56
 - ・図書『レビューと共に半世紀 松竹歌劇団50年のあゆみ』掲載グラビアを、ゲストの草笛光子さんを紹介するVTR作成のために提供
- 『ラストデイズ 勝新太郎×オダギリジョー』
NHK 総合テレビ 2014年5月1日 22:00～22:50（再放送:6月8日）
 - ・歌舞伎映画『鏡獅子』の映像の一部を番組中に提供

「城戸賞」展

展示期間:2014年5月30日~6月25日/於 閲覧室

6月21日公開の映画『超高速！参勤交代』は、第37回(平成23年)城戸賞入選作で、歴代最高評価を得た作品です。映画公開を記念して、今回は城戸賞受賞作で映画化された作品を取り上げました。映画化された作品は13作品で、『超高速！参勤交代』以外の12作品のプログラムや台本、掲載雑誌などの資料を展示しました。

新人による優れた脚本に与えられる城戸賞は、映画製作者として日本映画界に大きな貢献をし、芸術家、技術家の育成に努めた故城戸四郎の「日本映画の振興には、脚本の受け持つ責任が極めて大きい」との持論に基づき、新たな人材発掘、創作活動を奨励するため、映画製作者連盟により昭和49年12月1日の「映画の日」に制定された賞です。日本を代表する脚本賞のひとつとして、これまでに数多くの脚本家、映画監督、小説家を輩出しており、今年で40周年を迎えます。

賞に名前を冠する城戸四郎は、松竹の元会長で、「蒲田調」(後の「大船調」)と呼ばれる、明るく健康的で哀歓漂う作風を生み出し、松竹映画の黄金時代を築いた人物です。明治27年8月1日東京・築地の木挽町に生まれ、大正8年東京帝国大学英法科を卒業。貿易会社、国際信託会社を経て、大正11年松竹合名社に入社します。大正12年9月1日関東大震災が発生し、蒲田撮影所は被災。大半のスタッフが京都・下加茂へ移るなか、城戸が製作を主導して、島津保次郎監督他、蒲田に残った数名で、それまでの新派悲劇調の映画とは異なった、ごく普通の庶民の日常生活を描いた作品を製作します。これが「蒲田調」のはじまりでした。映画はシナリオ次第、と考えた城戸は、脚本部の充実を図り、自らも脚本を手がけました。蒲田撮影所閉鎖後は、松竹大船撮影所長に就任。プロデューサーとして活躍し、松竹社長を経て会長に就任しました。昭和52年4月18日逝去。82歳でした。

自身でシナリオ理論の原稿を執筆しており、その遺稿は昭和53年に、山田洋次監督の編集で「城戸四郎 わが映画論」として松竹より出版されました。映画論や談話なども収録され、城戸理論の集大成ともいえるべきシナリオ理論の本となっています。このことから、城戸四郎がいかにシナリオを重要視していたかがわかります。



◆展示資料作品一覧◆

『**帰らざる日々**』(※受賞時タイトル『**夏の栄光**』)第3回昭和52年[1977]入選/受賞者:中岡京平 ●台本
1978年日活/監督:藤田敏八/脚本:藤田敏八、中岡京平/出演:江藤潤、永島敏行、朝丘雪路

『**オレンジロード**^{エクスパレス}**急行**』第3回昭和52年[1977]入賞/受賞者:大森一樹 ●カラスチール
1978年松竹=おおもりプロ/監督・脚本:大森一樹/出演:嵐寛寿郎、岡田嘉子、森本レオ

『**もっとしなやかにもっとしたたかに**』第4回昭和53年[1978]準入賞/受賞者:小林竜雄 ●図書「年鑑代表シナリオ集79」
1979年につかつ/監督:藤田敏八/脚本:小林竜雄/出演:奥田瑛二、森下愛子、高沢順子

『**とりたての輝き**』第6回昭和55年[1980]準入賞/受賞者:浅尾政行 ●プログラム
1981年東映セントラルフィルム/監督・脚本:浅尾政行/出演:本間優二、森下愛子、田村亮

『**潤の街**』第7回昭和56年[1981]準入賞/受賞者:金秀吉 ●雑誌「シネ・フロント」1988年145号[シナリオ掲載]
1989年「潤の街」製作プロジェクト=仕事/監督:金佑宣/脚本:金秀吉、金佑宣/出演:姜美帆、田中実、初井言栄

『**V・マドンナ大戦争**』第9回昭和58年[1983]準入賞/受賞者:野沢尚 ●プログラム
1985年松竹富士=ジョイバックフィルム=キャニオンレコード=三船プロ/監督:中村幻児/脚本:野沢尚/出演:宇沙美ゆかり、斉藤こず恵、村上里佳子

『**超少女REIKO**』第13回昭和62年[1987]準入賞/受賞者:大河原孝夫 ●プログラム
1991年東宝/監督・脚本:大河原孝夫/出演:観月ありさ、大沢健、島崎和歌子

『**福本耕平かく走りき**』第16回平成2年[1990]入選/受賞者:久保田傑 ●雑誌「シナリオ」1992年9月号[シナリオ掲載]
1992年「福本耕平かく走りき」製作実行委員会/監督・脚本:久保田傑/出演:峰野勝成、小松美幸、七瀬なつみ

『**誘拐**』第21回平成7年[1995]入選/受賞者:森下直 ●プログラム
1997年東宝映画/監督:大河原孝夫/脚本:森下直/出演:渡哲也、永瀬正敏、酒井美紀

『**連弾**』(※受賞時タイトル『**連弾・デュオ**』)第25回平成11年[1999]入選/受賞者:経塚丸雄 ●プログラム
2001年松竹=東京放送=博報堂=衛星劇場=IMAGICA=セディックインターナショナル/監督:竹中直人/脚本:経塚丸雄/出演:竹中直人、天海祐希、富貴塚桂香

『**棒たおし!**』第27回平成13年[2001]入選/受賞者:松本穂 ●台本
2003年『棒たおし!』パートナーズ/監督:前田哲/脚本:松本穂/出演:谷内伸也、金子恭平、古屋敬多

『**のぼうの城**』(※受賞時タイトル『**忍ぶの城**』)第29回平成15年[2003]入選/受賞者:和田竜 ●プログラム、雑誌「キネマ旬報」2004年1月下旬新春特別号[シナリオ掲載]
2011年『のぼうの城』フィルムパートナーズ/監督:犬童一心、樋口真嗣/脚本:和田竜/出演:野村萬斎、榮倉奈々、成宮寛貴

